

資産運用レポート：ニッポン中間所得層の没落

1. はじめに

ぞっとするようなデータをご覧に入れましょう（下図）。

2000年から2050年に進むにつれ、日本の中間所得層の購買力が世界に占める割合は約10%から2～3%にまで急速に落ち込んでしまいます。

このグラフを掲載した『2030年世界はこう変わる』には、次のような記述があります。

今後、先進国の経済は低成長を続けます。先進国の中間層は、世界市場に職を求めざるを得ませんが、そこには新たに台頭する新興国の中間層との競争が待っています。

グローバル化の進展により、私たち日本人の大半を占めている中間所得層が没落の危機に瀕しているのです。

★世界の中間所得者層の購買力比較（2000～2050年）

